

研修 151

皮膚・排泄ケア認定審査コンチネンスケア分野

集中講座（2026 年度）

模擬試験

— 解 答 —

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10
問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	問 20

問題 1 問 1 から問 14 に対する適切な答えを選びなさい。

問1 蓄尿機能として正しい組み合わせはどれか。

- a. 蓄尿期には、下腹神経の遮断により、膀胱は弛緩する。
- b. 主として $\alpha 1$ 受容体が内尿道括約筋の収縮をもたらす。
- c. 外尿道括約筋は $\beta 2$ 受容体によって収縮する。
- d. 尿道括約筋と骨盤底筋は陰部神経を抑制して収縮する。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問 2 尿排出機能について正しい組み合わせはどれか。

- a. 橋排尿中枢からの遠性刺激は仙髄の副交感中枢を興奮させると同時に胸髄交感神経中枢を抑制する。
- b. 尿排出期は骨盤神経の刺激により、膀胱は収縮する。
- c. 仙髄オヌフ核を刺激することで尿道括約筋が弛緩する。
- d. 尿道を弛緩させるのは、 β 受容体である。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問 3 泌尿器の構造について正しい組み合わせはどれか。

- a. 膀胱壁は外膜、平滑筋層、粘膜層の 3 層構造になっている。
- b. 男性尿道は前立腺部と海綿体部尿道の 2 つに分かれる。
- c. 骨盤底筋は頭側から骨盤隔膜、会陰筋群の 2 層構造になっている。
- d. 骨盤底において最も重要な機能的役割は肛門挙筋である。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問 4 下部尿路障害の検査について 正しい組み合わせはどれか。

- a. 腹圧性尿失禁は膀胱尿道造影で尿道過活動がある。
- b. 溢流性尿失は、尿道内圧測定で低圧がある。
- c. 反射性尿失禁は膀胱内測定で排尿筋低活動がある。
- d. 膀胱・尿道協調不全の確認には、膀胱内圧測定と尿道筋電図が必要である。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問 5 下部尿路障害に関する薬物について正しい組み合わせはどれか。

- a. 過活動膀胱の治療薬として β 遮断薬がある。
- b. 低活動膀胱治療薬として抗コリン薬がある。
- c. 尿道弛緩薬として $\alpha 1$ 遮断薬がある。
- d. 夜間頻尿の治療薬として睡眠薬が使われることもある。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問 6 下部尿路障害の生活指導について正しい組み合わせはどれか。

- a. 減量は腹圧性尿失禁に推奨されるが過活動膀胱には推奨されない。
- b. 夜間頻尿には減塩を指導する。
- c. 便秘改善は蓄尿・尿排出障害の両方に効果がある。
- d. 膀胱訓練には排尿日誌は必要ない。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問7 夜間多尿による頻尿の高齢者のケアについて、誤っているものはどれか。

1. 午後の散歩
2. 夕食後の水分摂取を控える
3. 高吸収のおむつの使用
4. 骨盤底筋訓練

解答

問8 蓄便機能について正しい組み合わせはどれか。

- a. 外肛門括約筋は安静時でも緊張している。
- b. 直腸が充満すると直腸肛門抑制反射がおこる。
- c. 直腸肛門抑制反射によって便意の抑制がおこる。
- d. 蓄便時、直腸肛門角は鈍角である。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問9 便排出機能について正しい組み合わせはどれか。

- a. 胃結腸反射は下行結腸にも強い収縮運動を起こす。
- b. 便排出時は直腸内圧より肛門内圧が高くなる。
- c. いきみによって腹腔内圧と肛門内圧が高くなる。
- d. 直腸肛門角には、恥骨直腸筋の弛緩が関係している。

1. a. b 2. a. d. 3. b. c 4 c. d.

解答

問 10 直腸・肛門の解剖生理について正しい組み合わせはどれか。

- a. 消化管壁は、粘膜、粘膜下層、筋層、外膜の 4 層から成る。
- b. 小腸は消化管として最も長く、6～7m ある。
- c. 大腸の粘膜には輪状ヒダや腸絨毛がある。
- d. 直腸の終端部は収縮し、直腸狭窄部となる。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問 11 排便障害の検査結果について正しい組み合わせはどれか。

- a. 肛門管内圧の最大静止圧が低いと切迫性便失禁がおこりやすい。
- b. 経肛門的超音波検査では欠損部はわかるが程度の判別は難しい。
- c. 排便造影で奇異性恥骨直腸収縮(アニスムス)がわかる。
- d. 直腸バルーン排出検査によって排便時の直腸と肛門の動きがわかる。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問 12 直腸癌の低位前方切除術後に起こった便失禁の要因として誤っているものはどれか

- 1. 直腸肛門抑制反射の欠如
- 2. 直腸の貯留機能の低下
- 3. 外肛門括約筋の機能低下
- 4. 内肛門括約筋の機能低下

解答

問 13 便失禁の対処について正しい組み合わせはどれか。

- a. バイオフィードバックトレーニングを指導する。
- b. できるだけ多量に食物繊維摂取する。
- c. 下剤を使用し、直腸に便を残さない。
- d. 便意を感じたら、できるだけ速やかにトイレに行く。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問 14 高齢者の便秘ケアについて正しい組み合わせはどれか。

- a. 多量に水分摂取を勧める。
- b. 不溶性食物繊維の摂取を増加する。
- c. いきみのトレーニングを実施する。
- d. いきみやすいように足台を置く。

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問題 2

事例 1 次の文を読み、問 15 から問 17 に対する適切な答えを 1 つ選びなさい。

Aさん 男性 80 歳代 現在日常生活レベルは A1 妻 80 歳代と二人暮らし 2 年前にパーキンソン病と診断され、抗パーキンソン薬を服用している。その頃から日中 8 回、夜間 2 回程度の頻尿症状があり、抗コリン剤(コハク酸ソリフェナシン ベシケア R)も開始した。しかし最近日中 12 回以上、夜間 3 回以上と頻尿症状が悪化、時々失禁するようになったため、パッドを使い始めたが、手先の巧緻性が悪く、うまく交換ができない状態で本人も妻も困っている。寝室の隣にあるトイレに一人で行っている。

問 15 Aさんの頻尿・失禁の原因として正しい組み合わせはどれか。

- a. 過活動膀胱の悪化
- b. 残尿の増加
- c. 認知の低下
- d. 水分過多

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問 16 Aさんの頻尿・失禁のアセスメントとして誤っているものはどれか。

- 1. 前立腺の診断
- 2. 残尿測定
- 3. 認知症の診断
- 4. 便秘の確認

解答

問 17 Aさんの頻尿・失禁の対処として誤っているものはどれか。

- 1. 集尿器の使用
- 2. ペニスクランプの使用
- 3. パッドの選択
- 4. 泌尿器科受診

解答

事例2 次の文を読み、問18から問20に対する適切な答えを1つ選びなさい。

Bさん 20歳代女性 二分脊椎症だが、何とか杖歩行できる。排泄は尿・便意はなく、尿は自己導尿、排便は2日おきにピコスルファートナトリウムを15滴服用し、翌日摘便と浣腸で排泄していたが、尿・便失禁はなかった。2ヶ月前に就職してから、排便周期が崩れ、便失禁が起こるようになった。現在1日おきに夜間ピコスルファートを20滴服用し、翌朝座薬を使って排便している。便性はブリストルスケール1～4が出て一度終わるが、その後タイプ5～6が漏れてしまうことが重なっている。職場でも漏れることがあり、困っている。

問18 Bさんの排便周期の崩れと便失禁の要因として誤っているものはどれか。

1. ストレス
2. 運動量増加の可能性
3. 下剤の増量
4. 神経症状の悪化

解答

問19 Bさんのアセスメントとして正しい組み合わせはどれか。

- a. 職場環境の変化
- b. 運動量の変化
- c. 経肛門的超音波検査
- d. 腹部単純撮影

1. a. b. 2. a. d. 3. b. c. 4. c. d.

解答

問20 Bさんの対処として誤っているものはどれか。

1. 下剤の検討
2. 整腸剤の検討
3. 水分摂取量増加の検討
4. 経肛門的洗腸法の検討

解答